

しまだ 議会だより

No.17

11月定例会

2009(平成21)年1月30日発行

発行 島田市議会
〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ <0547> 36-7204

☎ <0547> 37-2212

メールアドレス gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp

目次

P 14	P 11	P 10	P 2
定例会概要&議決結果	委員長報告	議案質疑	一般質問

■「お茶の郷」茶室から見た富士山

この庭は、伏見奉行であり茶人でもあった小堀遠州が手がけた庭園を、宮内庁より図面を取り寄せて復元したものです。
市民の皆さんもぜひお出かけください。

位置：東経138度10分34秒
北緯34度50分11秒
(市役所)

面積：315.88㎢
人口：104,127人
世帯数：35,092世帯
(平成20年12月31日現在)

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

一般質問

16人が市政を問う

金谷地域 行政機構のあり方は？



さかした つかむ
坂下 修議員
(一問一答)

問 金谷支所行政機構のこれからの計画、現庁舎のあり方、金谷地域交流センターの機構、五和支所のこれからの計画は。

答 金谷地域の行政機構は合併協定のとおり支所を設置していく。現金金谷庁舎は金谷地域の自治会、コミュニティ委員会の見を参考に島田市総合計画の中で方向性を定める。金谷地域交流センターは現在の金谷支所と同様の機能を持たせる。五和地域の交流センターは来年度に検討したい。

問 2支所案と行政改革との整合は。

答 行政改革を図りなが

ら身近なサービスを確認していく。

問 行政改革となるのか。

答 合併し財政の規模も大きくなり、身近なサービスを考える中で改正も図っていく。

問 分散配置という意味から現庁舎を残し3支所案としたらどうか。

答 人口のバランスから3支所体制は多すぎる。

問 金谷地域全体を対象に合併協議から方向転換の理由を説明して声を聞くべきではないか。

答 自治会、コミュ

ニティ委員会の意見を伺う機会を設けていきたい。

問 3支所機能にするか、五和地域の交流センターは、単なる交流センターのほうか旧金谷町民には理解し易くないか。

答 議員の提案も一つの意見として伺う。



金谷地域の支所体制はどうなるか

学校のトイレを洋式化に

はらきしのぶ
原木 忍議員
(一問一答)



問 学校のトイレの洋式化の必要性和計画について伺う。

答 学校におけるトイレの洋式化については、子どもたちの家庭における生活様式が変化したことにより、家庭での和式トイレの使用が少なくなりつつあることや、けが等により和式トイレを使用

「一問一答」方式とは、質問・答弁時間合わせて50分以内とし、質問回数を制限しない方式です。また、「包括質問」とは、質問時間が30分で、質問回数を3回までとするものです。

できない場合があることなどから、半分程度の洋式化は必要と考えている。

問 様式化の50%の計画は何年計画でやるのか。

答 5年くらいはかかると思う。

問 当面、各学年に最低1つは洋式のトイレを設置して欲しい。設置率の低い学校からやるという計画はないか。

答 達成率が低いところをまず優先的に進めていきたい。

五和幼稚園の民営化について

問 五和幼稚園の民営化の計画について伺う。

答 五和幼稚園の民営化の実施時期については決定をしていない。

問 幼稚園を全部民営化することについて

答 賛成できない。五和幼稚園を民営化する方針か。

答 行政改革大綱に示してあるように民間にでき

ることは民間にしてもらっていくということ、民営化の方針は変わらない。

※ 他に教育関係5項目を質問した。



公立（島田市立）唯一の五和幼稚園

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

新型インフルエンザの備えは？



橋本 清議員
(二問一答)

問 県では「静岡県新型コロナウイルスインフルエンザ保健医療対策行動計画」を策定しているが、市の基本的な認識と取り組みを伺う。

答 健康被害や経済的損失は市民生活に多大な影響を及ぼすことが予想されるため、発生前の予防等を含め対策が必要と考える。市としては啓蒙・啓蒙に努め、初期対応策についての情報を市民に提供していくことが重要であると考えている。

問 市民への情報提供はどのような方法か。

答 市のホームページに掲載している。また、広報しまだやFM島田を活用して周知を図っていく。

問 市としても行動計画あるいは対応マニュアルを策定すべきと考えるが。

視覚障がい者へ音声サービスを

問 生活情報を視覚障がい者の人たちに提供する手段として「音声コード」といわゆる「SPコード」と「活字文書読み上げ装置」による方法がある。視覚障がい者への総合的支援として、公的窓口で活字文書読み上げ装置を設置してはどうか。

答 市では音声コードによる情報提供はしていないが、読み上げ装置の配置を含めて検討していく。



音声コードによる文書読み上げ装置
(中部健康福祉センターにて)

問 今年の夏(H20年)、全国各地でゲリラ洪水(集中豪雨)が多発した。洪水から市民を守る手立てとして、洪水ハザードマップの作成はできないか。

答 3月までに作成し、浸水想定区域内を対象に各戸配布する。

問 ハザードマップをより身近で確実な情報源にするため、狭い地域別に絞った情報提供またはサイポスレーダー情報

災害からみんなの命を守るために

佐野義晴 議員
(一問一答)



(ネットで公開している地域ごとの雨量情報)を導入し、画像で河川の浸水状態を放映して被災前に避難できるシステムはできないか。

答 ハザードマップには地域ごとの情報も上乘せする。自宅のパソコンから確認できるシステムも取り入れる。

問 災害における要援護者は何人いるのか。

答 6550人(10月末現在)。この内5134人が登録され、自力で移動が不可能な人は19%で、支援には2人以上が必要である。

過剰反応はないか？個人情報保護法

問 個人情報保護法が施行され3年半が経過した。報道によれば法律違反となるリスクを背負うより当法律にかかわることは一切しないと云った過剰反応を聞く。市民生活への影響を伺う。

答 そうした報告は受けていない。災害時、生命・財産の保護のためには本人の同意がなくても情報提供は可能。学校では、学校だより等に個人の写真・住所などを掲載することは困るといった要望が74件あった。(目的が理解できればOKの場合もある)



昭和57年・大津谷川決壊による洪水

市道を県道にして、 全面整備を



ひらまつよしのり
平松吉祝 議員
(包括質問)

問 阿知ヶ谷東光寺線から谷口道線にかけての道路整備について昨年度に質問したが、市はその必要性を認め平成20年度から順次実施していくとの答弁があった。

しかしながら、「順次整備」ではこの問題は解決されず、早期の根本的な全面整備が必要である。この道路は現在市道だが、国道1号バイパスから空港へのアクセス道路として大変重要になるため、県道に認定していただき、きちんと整備すべきである。県道の認定に当たっては、道路法第7条第1項第1号から第6号までに該当し、かつ国土交通省道路局長通達（平成6年6月30日）による路線認定基準に適合しな

ければならないが、いかがか。
答 この路線については、国道1号バイパスの無料化による交通量の増加や、それに伴う舗装面の損傷によって、騒音が激しくなっている。この解消には道路の構造自体から改良していく必要がある。平成19年度に道路状況の調査を行い、阿知ヶ谷東光寺線については平成20年度に舗装改良工事を実施し、今後も継続的に事業を進める予定である。しかし、延長も長く、全面改良には相当の事業費と期間を要することになる。提案のあった県道への移管については、この2路線は国道1号バイパスと国道1号を結び、ともに、富士山静岡空港へのアクセス道路でもあるので、県と協議していきたいと考えている。



交通量の増加により急がれる道路整備

公立保育園の 民営化計画は中止を

さくらようこ
桜井洋子 議員
(一問一答)



保育士の定年退職の状況や保育園の施設等の現状を見て計画した。

問 第三保育園は、唯一駅南にある地域の保育園として信頼され、期待される子育ての拠点施設だ。廃止と聞いて、保護者や住民に不安と怒りが広がっている。なぜ廃止なのか。

答 駐車場もなく、限られた地域の方の利用になってしまふ点と、少子化の中で、施設的なことを考えて廃止の方向とした。

問 施設整備等は、市としてきちんとやっていくべきだ。コスト削減、人件費削減を理由にして、定年退職する保育士の補充を、正規でなく臨時保育士で対応し、その調整として、次々に民営化や廃止していくやり方は問題だ。子どもたちに向け皿となる民間は、民営化計画をどう受け止めているのか。

答 すでに、第二・第四保育園の民営化を順次進めてきた。民間の受け皿の中で調整し、子育て支援事業を展開しながら、連携を持ってやっていきたい。常に、話し合いの場を持っている。

問 市は、公立4保育園の民営化計画を公表した。金谷中央保育園は平成23年度、かわね保育園は24年度から民営化し、第三保育園は26年度から廃止第一保育園は当分の間存続するとの方針だ。保育需要が高まる中、コスト削減を理由にして、市が直接担っている公的保育の責任を投げっていくことは問題だ。



廃止計画が出された第三保育園

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

いっばんしつもん

深刻な不況なのに 産業展示施設？



まつもと さとし
松本 敏議員
(二問一答)

問 市長は県知事と「多目的産業展示施設」立地に共同して取り組むことを発表した。用地の確保や基盤整備は島田市が担うとのことだ。県の施設なのに島田市が財政支出をするのは疑問だ。

答 施設の波及効果を考えると、島田市が用地の確保や基盤整備をやることは必要である。

問 不況は深刻だ。それなのに40億から50億円とも言われる県下最大規模の「産業展示施設」の建設は疑問だ。

答 県内はもとより国内の遠隔地や東アジア地域から人々を呼んで展示会を開催する中核施設となり、経済波及効果はある。

後期高齢者医療制度は廃止すべき

問 この制度は8カ月間で見直しを繰り返してきた。75歳という年齢で高齢者を差別するのは、制度の根本が間違っている。年金が少ない人から、振り込みにて保険料を収める普通徴収も開始された。未納者の増加が心配



後期高齢者医療制度を担当する市民課の国保年金係・保険税係

される。

答 未納者は延べ720人。収納率は92%となっている。

問 滞納者への資格証明書発行は、医者にかかれなくするのと同じだ。保険証の取り上げはやめるべきだ。

答 この制度は高齢者医療を維持するために考えられた。滞納者には理解を得ながら納入を働きかけていきたい。

問 市長は批判の多い後期高齢者医療制度について、廃止を国に求めるべきと思うがどうか。

答 国は見直しを進めている。それを見守っていきたくと考え、廃止は求めない。

来年度予算の目指すものは？



たじまたて お
田島建夫 議員
(一問一答)

問 編成の基本方針は。健全な財政運営を念頭に置き、六合、初倉、伊太、金谷、川根地区などに新たな中核施設を開設し、富士山静岡空港の開港を契機として、地域の活性化や地域経済の振興を図るなど新市の着実な発展を目指したい。

答 財源の確保は。未曾有の経済危機からしても市税の減収や地方交付税の減額が予測され、人件費の抑制など歳

出のカットもやむを得ないものと認識している。財源補てんのための安易な借り入れは避ける。

問 行財政改革の盛り込みはどうなるのか。

答 行政改革大綱に基づく実施計画を着実に実行し、集中改革プランを推進する。経常経費の削減に努め、事業の費用対効果をあらためてチェックし、緊急性や優先性を再検討していく。

問 富士山静岡空港周辺の地域振興策は。

答 引き続き空港隣接地域振興事業を実施し、併

せて多目的産業展示施設の実現に向け、県と連携を密にし、金谷中学校跡地周辺の基盤整備に取り組み。

問 景気悪化に伴う市民ならびに中小零細企業の救済策は。

答 雇用の確保や内需拡大など国の緊急施策を的確に把握し、市内事業者を実施したアンケート調査を踏まえ、地域経済の活性化に向け臨機応変に対処する。また、相談窓口の拡充や小口資金の手当など、できるかぎり積極的に対応していきたい。



多目的産業展示施設予定地の金谷中学校跡地周辺

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

空港の開港延期による影響について



みぞしたかずお
溝下一夫議員
(包括質問)

問 昭和62年に空港予定地が決定して以来、実に20数年の歳月と莫大な投資がされてきた。しかし、3月開港目前になり立ち木問題等で県側はミスを認め開港は延期された。

答 県全体では年間約556億円の経済波及効果先送りされたと聞いているが、島田市にとっての影響はほとんどない。

問 延期による対策として、地元のイメージアップを図る上でも就航先等でのPR活動は考えているか。

答 これまでも開港に向けたPRをしてきたが、今後も県の動向を見ながら、就航の運びとなる。安全性については新聞、テレビ等の報道で広く一般に周知されるものと考えられる。市長としても地域の集會、また自治推進町内会等で説明していきたい。



解決が急がれる空港周辺の立ち木問題

昭和62年に空港予定地が決定して以来、実に20数年の歳月と莫大な投資がされてきた。しかし、3月開港目前になり立ち木問題等で県側はミスを認め開港は延期された。

問 開港延期による島田市の経済的損失と住民へ不信感等を与えたことをどのように捉えているか。

答 県全体では年間約556億円の経済波及効果先送りされたと聞いているが、島田市にとっての影響はほとんどない。

問 延期による対策として、地元のイメージアップを図る上でも就航先等でのPR活動は考えているか。

答 これまでも開港に向けたPRをしてきたが、今後も県の動向を見ながら、就航の運びとなる。安全性については新聞、テレビ等の報道で広く一般に周知されるものと考えられる。市長としても地域の集會、また自治推進町内会等で説明していきたい。

※ 一般的には完全運用されてから空港を利用したいとの声も聞く中で、これからいろいろなか機会を捉えて安全性等を含めた中でPRし、無限の可能性を秘めた富士山静岡空港を1日でも早く開港させ、単にアクセスの利便性向上だけでなく将来の雇用創出、企業立地、観光振興等の起爆剤となることを期待する。

問 「赤ちゃんの駅」とは板橋区の独自事業で、乳幼児を抱える母親の子育て支援策として保育園・児童館などを赤ちゃんの駅に指定し、外出中の親子がおむつ替えや授乳のために気軽に施設を利用できる環境整備である。

答 当市も、外出時における支援策として既存の公共施設を工夫し、経費をかけないこの事業に取り組んではどうか。

問 おむつ替えの場所は

子育て・まち活性化策に「赤ちゃんの駅」設置を



むらた ちくこ 議員
村田千鶴子
(一問一答)

多目的トイレ内等に整備されつつあるが、授乳室の専用の整備はない。今後は板橋区を参考にしながら、乳幼児を抱える母親にわかりやすい表示を工夫し、地域の実情に合った手法で可能な施設から検討していきたい。

問 賑わいのあるまちづくりの整備としても必要と考えるがどうか。

答 乳幼児を抱えた母親たちにも買物をゆつくり「赤ちゃんの駅」のような親子で触れ合う場が持てる子育て支援の環境づくりの充実に向け、商店街の方々にも広く呼び掛けを行いたい。

問 「赤ちゃんの駅」のような施設の整備のために保育園や児童センターを対象にカーテンレールなどでスペースの確保を行うとともに、表示旗を公募してはどうか。

答 できるところから工夫して検討していきたい。

問 子育て支援を展開している中央児童センターの傷んだ室内の改修をすべきではないか。

答 認識しているが優先度を精査する中で順次やっていく。

※ 児童センターは、子どもたちの元気な笑顔いっぱい居場所である。安全面から最小限の修理・改修をと強く要望する。



東京板橋区の「赤ちゃんの駅」

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

第二期桜井市政の総括は？



すぎむらようせい
杉村要星 議員
(包括質問)

問 第二期桜井市政が3年半経過しようとしている。市長はこの3年半、旧川根町との合併、富士山静岡空港建設の促進、島田駅とその周辺の整備、田代温泉の建設など多くの行政実績を残したと思う。市長はこの3年半を振り返って行政実績をどのように総括されるのか。また、その先の4年間への取り組みに対する考え方、姿勢はいかがか。

実施できたものと考えている。今後は新市の持つ大いなる可能性を現実のものとし、市民の誰もが心のゆとりと豊かさを実感できるまちづくりのため精一杯取り組んでいきたい。



建設が進む田代の郷温泉施設

問 犯罪危険箇所の把握の方法として、自治会、学校関係、PTA等を通して、犯罪危険箇所にテーマに絞って情報を意見集約したらどうか。

答 情報の集約は、基本的には必要であり、具体的には19の地域の防犯団体や地域安全会議を通して集約を図りたい。また、各学校区を中心に地域防災マップが作られているようであるので、それらを受けて市として全体を



川根支所同報無線放送室

堂山谷北線の拡幅工事の完了は？
問 堂山谷北線の拡幅工事の要望が出されてから長い年月がたち、現在は蛇が卵を飲んだような形状になっているが、工事完了の見通しはいかがか。
答 昭和63年に拡幅工事の要望が出され、平成14年度から改良工事が進められてきている。要望区間405メートルのうち現在261メートルが完了し、未整備区間は144メートルとなっている。工事完了は平成24年度を予定している。

防犯・防災の対策は万全か？



おおいしせつお
大石節雄 議員
(一問一答)

把握するように努めたい。
問 市民自らが防犯活動に取り組むことは重要であり素晴らしいことだが、そこには限界がある。ハード面において市の協力が必要ではないか。
答 防犯灯や地域防犯パトロール部隊等に補助金を出している。地域で必要と判断した場合は、申請を出していただければ協力していきたい。

が熟してきているし、その時期に来ているので、具体的な検討を進めていきたい。
問 防災対策の孤立地域に対する情報伝達、情報収集の対策はどうか。
答 有事の際、市としては初動マニュアルに沿って行動する。川根地域については、川根地域総合課長が先頭に立って指揮をとることになると思う。
問 川根地区の同報無線活用方法について伺う。
答 今までの歴史を踏まえ、経過的な意味も含めて、支所が判断をして活用していただきたい。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

予算をつけるべき!



津田恵子議員 (二問一答)

次の3事業は新年度に予算付けするのか。

問 1. 島田市全域の交通体系の構築とオンデマンドの乗合タクシーの導入は。

答 総合交通体系の策定は必要。コミュニティバス等で19年度8200万円、20年度1億1000万円、21年度には4路線が増え1億7000万円程度が市費の充当になる。21年度秋以降、営業の改善、赤字対策をしていく。その後、中長期的に考えていく。当初予算には総合交通体系策定経費は計上しない。

問 総務消防常任委員会で米原市のオンデマンドの乗合タクシーを視察した。島田市に合うシステムなので導入を研究すべ

き。

答 優先課題を解決する中で、全体構想の準備はしていく。

問 2. 市民活動の支援策と活動拠点の創出は。

答 NPO法に定められた団体や公共を担っている市民団体の育成をしていく。拠点施設は2回の合併で公共施設が空いて

いるので有効活用を考えていく。

問 3. 議会の放映、ビデオ収録、インターネット配信は、この11月議会から放映される予定であったが、なぜか予算がつかなかった。新年度はどうか。

答 議場の放映システムは1110万円余の予算要求が出ているが取り扱いは決まっていない。限られた予算の中でやむを得ず切る場合もある。

問 島田市民からも求められている。県内で議場を放映していないのは4市のみ。

答 県内の情報も得て検討していきたい。



島田駅からコミバスで山の家へ。ここで乗り換えて川根に帰る

「すぐやる課」の民間委託は?

飯塚栄一議員 (一問一答)



問 昭和40年から50年代の高度成長期において、都市化が急速に進んだ中で舗装された市道が再舗装のときを迎えている。しかし、住居地域において本舗装されず、繰り返し補修されている道路が多いと思う。島田市はすぐやる課の中に現業部門を持ち、現在15人体制(川根を除く)で対応しているが、藤枝市は6人体制で対応している。事業数はほぼ同じで予算額は島

田市1億円に対して藤枝市は5000万円である。現業部門の民営化の検討または業務委託は考えているのか。

答 このような事業について各自自治体と比べていいのかという疑問がある。何かあったときすぐやるということに市民サービスの一番の趣を置いていくことから、人数的には多く必要である。「すぐやる課」に対して否定的な質問であるが、この課は合併前からの私の大き

な施策の一つである。これを無駄だという言い方をされるのは迷惑千万である。今までは住民の要望に対して対応が遅れていたから、維持管理課よりもすぐやる係としてすぐ対応できるようにした。市民の安全安心住みやすいまちづくりのためには大変重要である。そういうことを理念として「すぐやる課」を創設したのであるからこの課を廃止するつもりはない。



再舗装の時期を迎えている市道

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市営墓地の完成はいつか



とみざわひろし
富澤保宏 議員
(二問一答)

問 アンケート調査では、墓地が必要な人の6割以上が市営墓地を望んでいる。10月の臨時会で調査費400万円が議決されたが、墓地の候補地、規模、料金(使用料)、完成時期、納骨施設、また公園機能を考慮したものは何か。

答 11月末に墓地建設可能性調査業務委託の入札で業者が決定し、12月から調査を開始する。平成21年度に候補地を決定し、早期の完成に努力する。霊園および納骨堂の規模は調査後、候補地の規模に応じて計画したい。使用料は川根霊園や近隣の公園墓地を参考に、市民の希望にこたえ、安価になるよう努力するとともに自然環境との調和を図



完成が待たれる市営墓地
(写真・九州池田記念墓地公園)

問 この地域での暮らしの安全のため川口に診療所が必要である。

答 市民病院と民間診療

川根・伊久身地域の施策は

りたい。

所との連携が重要である。
問 川根地域の社会教育施設が手狭との声があるがどうか。

答 21年度に川根地区センターの改修を秋以降行い、22年度から社会教育施設として職員を配置し、社会教育講座、高齢者学級や市民学級などの講座を行う。1階に2つの部屋を整備していく。

問 川根川口間のコミュニティバスを朝から本格運行をするべきだ。

答 来年度も試行を継続し、全体的なバス路線の動向をあわせて検討する。

問 小学校の英語教育は楽しく身につけてほしいこと、また、英語が得意な教員も子供に教えることは別と思うので、教員に対する教育方法をどのように実施していくのか伺う。

答 平成23年より、小学校で英語活動を行うことが指導要領で決定をした。小学校の教員に指導力を持たせることが当面大きな課題であるが、優秀な指導者については、数人

小学校の英語・平成23年に向けて！



なかだゆうこ
仲田裕子 議員
(一問一答)

の候補を考えている。伊太小学校は県の指定を受け、5・6年生で週1時間、特別な指導者が派遣されている。この事例を市内の小学校に広げていきたい。市としては、来年、再来年の2年間でアメリカ人の専門的指導者2人や、リッチモンド友好協会の協力者などの人材を視野に準備している。

お茶ががんばる課の指導は適切か！

問 お茶の郷「庭園」の、コンセプトの違いを今後どうするのか伺う。

答 指定管理者が庭園監修者の了解を得て改造をした部分と、今後植栽を

変える時期が来年1月から3月までである。そうした変更計画が出されているが、すべて網羅してないので、今年中に第2期目の全体最終的計画が提出される予定となっている。

問 農林水産省の生産局において、マニュアルが出されているGAPの指導はなされたのか伺う。

答 GAPは島田市ではまだ指導はされていないが、非常に重要なので今後研究していきたいと思っている。

※ GAPとは「適切な農場管理とその実践」のこと。



外国の教師による小学校の英語教育

議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、6人の議員から81の項目について質問しました。以下、主なものを掲載します。

【議案第170号】

H20一般会計補正予算

☆茶業振興事業について

問 (株)ハラダ製茶農園が受ける強い農業づくり交付金制度の概要と補助要件はなにか。

答 H17年度、国が生産から流通までの総合的な強い農業づくりを推進するため創設されたもので、交付金を受ける対象は農協、農業生産法人等、受益面積10畝以上、事業参加者が5戸以上となっており、交付金の交付率は定額のものや、あるいは事業費の2分の1などとなっている。

☆コミュニティバス運行準備経費について

問 (仮称)市内東線、(仮称)六合北線の便数、停留所の数、料金はどのくらいか。

答 (仮称)市内東線の便

数は1日6便、停留所は19カ所、(仮称)六合北線の便数は1日4便、停留所は13カ所である。それぞれ平日運行で、料金は大人・子供とも100円。ただし乳幼児と障害者は無料。今後タクシー会社、地元自治会と協議して最終調整をする。

【議案第173号】

H20介護保険事業特別会計補正予算

☆特定高齢者把握事業について

問 介護予防健診を受診する対象者数および予想人数はどうか。

答 65歳以上の約2万5千人のうち要介護、要支援の認定を受けていない約2万2千人が対象であり、予想受診者数は7千2百人である。

問 生活機能の低下ありと診断された方の対応は。

答 医師が介護予防事業の利用が望ましいと判断した人には、市内4カ所の地域包括支援センターの保健師が訪問し、事業の利用を進める。

【議案第190号から第197号まで】

☆各指定管理者の指定に関する決定の経緯、指定管理料、事業計画および成果について

問 歩歩路の利用状況はどうか。また、指定管理料が安くなっているがその理由は何か。

答 平成19年度の利用状況は、人数にして3873人、率にして44%の減少、会議室、多目的利用室は4665人、率にして15・3%の増加である。また、指定管理料の減額は、自主事業の増収、人件費の減、光熱水費の減額が要因である。

市議会・本会議の様子



問 歩歩路の利用状況はどうか。また、指定管理料が安くなっているがその理由は何か。

答 平成19年度の利用状況は、人数にして3873人、率にして44%の減少、会議室、多目的利用室は4665人、率にして15・3%の増加である。また、指定管理料の減額は、自主事業の増収、人件費の減、光熱水費の減額が要因である。

問 金谷生きがいセンターの夜間休日時の嘱託員の処遇はどうなるのか。また、五和会館の減免措置は現状のままか伺う。

答 指定管理者が決定後、協議の場を設ける。五和

会館を地元町内会や隣組などが利用する場合は、現状どおり対応する。

て定めていくことになる。(なお、各指定管理者からの事業計画書収支予算書、指定管理者選定基準および指定管理者選定会議録の資料が議会からの要求により提出されている。)

◆意見書を採択しました◆

公費負担による妊婦健康診査を助産所でも受けられるよう求める意見書(要約)

妊婦健康診査は、母体や胎児の健康を確保し、安全な出産に臨むために、最低でも14回程度必要とされる。今年度から国は、少子化対策の一環として、公費負担による妊婦健康診査を2回から5回に増やす予算措置を実施したところである。静岡県は、これまで各市町の委任を受け、県医師会や病院と公費負担による妊婦健康診査の協定を結び、広域的、地域的な公平性の確保に努めてきた。しかし、助産所についてはこの協定の対象外となっている。

今、全国的に見ても深刻な産科医不足等により、業務過重を招いている。また、県下においても、出産場所が確保できない「お産難民」も懸念される事態が生じている。「飛び込み出産」等の深刻な事態を避けるためにも、助産所を活用し、よりきめ細やかな出産体制づくりは急務である。

以上のことを踏まえ、静岡県においては、誰もが等しく公平に安心して出産できるよう、公費負担による妊婦健康診査を助産所でも受けられるよう求めるものである。

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審議内容は次のとおりです。

☆H20一般会計補正予算

○債務負担行為補正・学校給食調理等委託（H21年からH23年までで3億6千万円）

問 前回の3年間（2億8千5百万円）より大幅に増えている理由はなにか。

答 前回は初めての参入という業者側の事情が大きく働いたものと理解する。

問 民間委託後の実態をチエックする機関や制度を設けているのか。

答 島田市学校給食共同調理場運営委員会ですべての学校給食の検討を行っている。また、本課と調理場に栄養士がおり、研修会等もやっている。

○児童福祉総務費

問 各種保育事業の変更内容は何か。

答 3歳児保育の経費補助額の増額改正と、軽度障害児に係る経費が本年度から一般財源化されたことに伴い、市単独で補完するものである。

☆H20国保事業特別会計補正予算

○高額療養費

問 高額療養費支給処理システムの改修は、どのような内容か。

答 後期高齢者制度に移行する75歳到達月からの医療費が、来年1月からの特別措置により、従来の2分の1の限度額となる。これらの設定について改修するものである。

☆H20後期高齢者医療事業特別会計補正予算

問 普通徴収と特別徴収の人数を伺う。

答 10月末で、被保険者数1万3400人のうち特別徴収9800人、普通徴収3600人である。

問 特別徴収9800人のうち、口座振替に切り替えた人数を伺う。

答 528人である。

問 口座振替にするのには幾つか要件があるが、今後変更があるのか。

答 平成21年4月以降は、要件をなくす意向であるということなので、明確な通知があり次第周知していく。

☆老人福祉センター条例改正

問 利用は高齢者や老人

会などが中心だが、若年層も市長が特に認める者に入るのか。

答 老人福祉法に基づいて設置するもので、若年層の利用は想定していない。

問 市長が特に認める者とはなにを想定しているのか。

答 市外の方と市内の高齢者団体との交流や、NPO団体・地元町内会などの利用を想定している。

☆国民健康保険条例改正

問 出産一時金が35万から38万になるが、出産の際の支払い方法を伺う。

答 出産の医療機関が決まった時点で、医療機関と世帯主の連名で申請し、出産費用が38万円未満であれば、掛かった費用を医療機関へ差額は世帯主へ支払う。38万円を超えた場合は、不足分は本人が支払うことになる。



委託化が進む金谷学校給食センター



島田市民病院の新生児

経済建設文化常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審議内容は次のとおりです。

☆H20一般会計補正予算

問 茶業振興事業は国庫事業の場合、最低農家戸数が5戸以上という決まりがある。この事業は大企業と個々の農家との格差がますます広がると思う。個々の農家に対する補助や指導について、どのような考えを持っているのか。

答 強い農業づくり総合対策事業費補助金1119万1000円は、株式会社ハラダ製茶農園が切山地区と横岡地区において行う3・78ヘクタールの茶植栽事業に補助するものである。国庫事業においては5戸以上、県事業については3戸以上という採択基準がある。市としてはできる限り任意組織を作っていたら

補助事業に取り組もうと
思っている。要望のあった農家に対しても組織支援を行っている。

問 島田市にはお茶がなばる課がある。個々の農家に対する補助体制の充実、資料提供をする中で、お茶がなばる課が今後の茶業の指針を示さないと茶業の活性化はないと思う。5年、10年先をシミュレーションする必要はないのか。

答 昨年度も部長以下農家の意見を伺いに出向いている。農業経営振興会とも意見交換し、農林事務所、JAと一緒に支援体制を考えていきたい。

問 駅前広場（駅北）の整備が進んでいるが、進捗率はどのくらいか。また工事を見ていると、市民、利用者に不便をかけ

ているようであるが、どのような配慮がなされているのか。

答 先月末の進捗率は40%である。現在タクシーやバスは全部西側で乗り降りしてもらっているが、1月末までに駅前

広場の東側の整備を終わり、タクシー・一般車は全て東側に移動してもらうことになる。これで利便性が良くなると思う。

☆指定管理者の指定（ばらの丘公園）

問 公園内の2階のレストランの新しい経営者への移行はスムーズに行われたのか。またフランス料理はばらの丘に似合うと思うが料理内容はどのようなになるのか。



完成が待たれる駅前広場の整備



フェスタでにぎわうばらの丘公園

答 公募条件の中で料理内容については特定していない。ローズショップから一般的な軽飲食という形の中で、地産地消のメニューも含めたものを提案してきており、そのような形で良いと思っている。

☆工事請負契約

問 大草住宅の建設が3期目を迎え、請負業者が決まったが、現在の利用状況また4期目はどのようなになるのか。

答 大草住宅の第3期建設事業は11月26日に制限付一般競争入札を行い、12社が参加した中、大河原建設株式会社が3億765万円で落札した。4期目の工事は平成22年から23年にかけて行う。



総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。
主な審議内容は次のとおりです。

☆H20一般会計補正予算

○コミバス六合北線等来年4月開設について

問 市内東線の便数は、1日6便3往復というところであるが、どういう考え方のもとで行おうとし

たのか。

答 従来から旧市の南と東、横井町や南町、旭町、御飯屋、元島田方面から

コミバス開設の要望が大変強くあり、田代温泉線を計画するときに、駅から東部地区を回るとい

要望にこたえることができなかったという計画に1循環つくるとい

なった。対象としては、高齢者で車の運転ができな

い人、免許証を持っていない人を対象に考えて計画した。

問 温泉線は1日8往復である。使いやすさを考えると東線の3往復という設定は少ないと思うがどうか。

答 市内東線の6便については、田代温泉線に行くというのを想定しているものではなく、島田駅を中心

に、買い物をしたり、場合によっては温泉に行ったりということを考えてきたものである。ご理解をいただきたい。

問 六合北線の停留所は13カ所ですが少ないと感じるが、住民の皆さんとの話し合いはどうか。

答 地元の町内会の皆さんが集まり候補地を出し

て協議した。ただ、六合北線については、多少のルート変更を今検討している。

☆金谷泉町等の新設に伴う関係条例

※大字金谷・金谷河原地域の内、金谷河原地域の新設を平成21年2月に実施、金谷地域は平成22年2月実施予定。現在、使用している通称町名に金谷をつけて表示することになった。

○金谷東町の二分劃の要望は

問 自治会から金谷東町を東一丁目と東二丁目に分ける要望はあったか。

答 特に要望はなかった。協議し調査していく中で、重複地番があることが分かり、東一丁目と東二丁目に分けた。自治会の了承を得ている。

問 郵便番号について郵便局と協議しているか。

答 金谷東一丁目、金谷東二丁目は、これまで使っていた42810013を統一して使うことで協議済みである。

☆指定管理者の指定(かなや会館)

○減免制度はどのようなか

問 減免の対象は、どのような団体か。

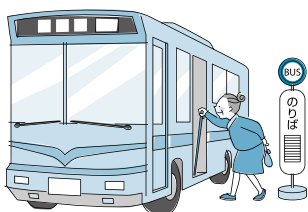
答 地元町内会の総会等、地元自治会が使用する場合は減免している。

問 公共の施設の管理について島田・金谷・川根地区で相違がある。整合



島田市観光協会が管理する「かなや会館」

性がとれるよう修正すべきではないか。
答 今後、整理して検討していきたい。



コミバス新規路線平成21年4月開設

- ◇ (仮称) 市内東線
運行便数 1日6便 (3往復) 平日のみ
- ◇ (仮称) 六合北線
運行便数 1日4便 平日のみ
- <共通事項>
- 運行車両 ジャンボタクシー定員9人
- 運賃 一乗車一律100円
大人・子供同料金・乳幼児、障害者手帳保持者は無料

コミュニティバス新規路線資料

平成20年度補正予算を可決！

一般会計1億3,894万円を追加

11月市議会定例会は、平成20年11月25日から12月18日までの24日にわたって開催されました。一般質問では16人が登壇し3日間の論戦を行い、議案質疑では6人が登壇しました。
 主な内容は次のとおりです。

H20年度補正予算

一般会計補正予算は1億3,894万3千円を追加するものでした。特徴はガソリン高騰の影響を受けて燃料費が大幅にアップしたこと、また、市の保有する施設を民間企業などに管理してもらうのに「指定管理者制度」があります。その準備のための予算も計上されました。

主なものとしては人件費の年度末の調整、ガソリンの高騰による光熱費の増額、金谷地域交流センターの建て替えによる電算システム導入の経費があります。コミュニティテイクシーの運行では「田代の郷温泉線」に続き、試行運転として「市内東線」と「六合北線」を4月から運行させるための準備経費が計上されて

います。また、(株)ハラダ製茶農園へ茶園整備の補助金を支出すること、次世代育成計画の第二次計画作成の準備経費があります。そのほか国保、下水道、介護保険、後期高齢者医療制度の特別会計の補正予算、病院、水道の企業会計の補正予算が提案されました。

指定管理者の指定

「かなや会館」「地域交流センター・歩歩路」「東海道金谷宿お休み処」「ばらの丘公園」「老人デイサービスセンター」「川根介護予防拠点施設」「養護老人ホーム・ぎんもくせい」「金谷生きがいセンター」についての「指定管理者」が内定しました。これら8施設の管理運営を市に代わって委ねようとする

訴えの提起

ものです。島田市が直接管理する以上にサービスの向上が図れるか、経費を節約できるかがポイントとなります。議案として提出された大半は以前と同じ事業所であり、議案はすべて可決されました。

島田市は学校給食費未納の二世帯に対し、島田簡易裁判所に支払い督促の申し立てを行いました。二世帯のうち一世帯が異議を申し立てたため、提起に移行することになり、未納額は3年間の合計で16万7,314円になっています。提起する際には議会の議決が必要となるため議案が提出されました。採決の結果、提訴の議案は可決されました。

議決結果一覧表

○全員賛成で可決

平成20年度島田市補正予算のうち

- 一般会計補正予算⑦
- 国民健康保険事業特別会計補正予算④
- 公共下水道事業特別会計補正予算②
- 介護保険事業特別会計補正予算⑤
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算④
- 水道事業会計補正予算①
- 病院事業会計補正予算②
- 一般会計補正予算⑧
- 金谷泉町等の新設に伴う関係条例の整理に関する条例
- 市立老人福祉センター条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- 市営住宅管理条例の一部改正
- しまだ楽習センター条例の一部改正
- 市立公民館条例の一部改正
- 病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 町の新設
- 字の区域の変更
- 市道路線の認定
- 市道路線の廃止
- 土地開発公社定款の一部変更
- 大井上水道企業団の規約変更
- 指定管理者の指定(かなや会館)
- 指定管理者の指定(地域交流センター)
- 指定管理者の指定(東海道金谷宿お休み処)
- 指定管理者の指定(ばらの丘公園)
- 指定管理者の指定(老人デイサービスセンター)
- 指定管理者の指定(川根介護予防拠点施設)
- 指定管理者の指定(養護老人ホーム)
- 指定管理者の指定(金谷生きがいセンター)
- 工事請負契約

その他の条例・請願等

条例改正では、暴力団員の利用を制限するため、市営住宅の管理条例の改正が提案されました。また、金谷地区の「町」名を変更する議案、市道路線の新設や廃止を行う議案も提出されました。工事請負契約の議案では、大草地区の市営住宅の建設について第三期の建設工事の入札が行われ、大河原建設が3億765万で落札しました。これらの議案は可決されました。

なお、『川根地区から市民病院への直通バスを求める請願』については、賛成2、反対23票で否決されました。



議会基本条例制定のための市民との意見交換会の報告

議会条例等に関する調査特別委員会（原木忍委員長）主催の「議会基本条例制定のための市民との意見交換会」が11月22日（土）市役所で開催され、市民27人が参加しました。

この意見交換会は、11月14日（金）から行われているパブリック・コメント（意見募集）の一環として行われたものです。

意見交換会では、議会基本条例案（骨子）の説明に対し、参加者から



多くの意見が出された市民との意見交換会

「わかりやすい言葉で」、「議会が議決する事項を基本条例の中に盛り込まないのはなぜか」、「議会は行政の付属物でなく自立した機関ということを明確にうたってほしい」などの意見が挙がりました。

同特別委員会では、市民から出された意見を踏まえた上で最終案をまとめ、2月定例会での提出を考えています。

島田市議会基本条例案（骨子）等に対する意見募集の結果について

島田市議会基本条例案（骨子）等に対する意見募集の結果については、2月中に公表できるように作業を進めています。結果については、市のホームページ及び左記の閲覧場所で公表します。

ご意見をお寄せいただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。

◆閲覧場所 情報公開コーナー（市役所1階）議会事務局、金谷支所、川根支所

訴えの提起
公費負担による妊婦健康診査を助産所でも受けられるよう求める意見書

○賛成少数で否決
川根地区から市民病院への直通バスを求める請願

○その他

専決処分（物損事故の和解）（報告）
専決処分（物損事故の和解）（報告）
専決処分（物損事故の和解）（報告）

11月臨時会の概要

平成20年第2回島田市議会臨時会が、10月14日に開催されました。

この臨時会では9月定例会で否決となった一般会計補正予算の再審議がありました。専決処分報告については、旧川根町の公債費の一部を繰上げ償還するための補正であり、一般会計補正予算の議案では、専決処分および（仮称）五和地域交流センター建設事業に係る補正額を除いた額、4億475万円を追加する内容となっています。

議決結果一覧

- 全員賛成で可決
専決処分（H20一般会計補正予算⑤）
- 賛成多数で可決
H20一般会計補正予算⑥

市議会報告会の報告（平成20年11月14日開催）

島田会場 参加市民 21人

島田会場には21人が参加し活発な意見が交わされました。島田市民病院については「午前中に診察に行ったが断られ、開業医に回された。納得がいかない。病院は赤字と聞いているのに断る理由がわからない」などの意見がありました。広域多目的ドームでは「島田市と県が共同して建設することのことだが、市の負担はどれくらいか。維持・管理の経費は年間どれくらいか」との質問がありました。また、伊久美地区は地震災害で陸の孤島になる心配がある。集落間で交信するため、各集落に衛星携帯無線を配備してほしいとの意見がありました。

金谷会場 参加市民 35人

①市議会報告（主なもの）

夢づくり会館の指定管理者制度後の利用条件や五和会館の取り扱い、金谷庁舎の耐震補強の経過について。また、公民館的なものが有料になっていくが、減免方法はないのか等の、金谷地区に関する質問が主でありました。

②意見交換（主なもの）

金谷地域交流センターは着手されたが、五和支所と、現在の金谷庁舎はどうなるのか。金谷コミュニティ委員会の声を集約すれば金谷地区の意見が伝わるのではないかなど、五和地域交流センターや金谷庁舎に関する意見、質問が多く出されました。また、市民病院の今後のあり方についての意見もありました。

川根会場 参加市民 17人

市議会報告会川根会場には17人の市民の参加のもと、以下のような質問・意見をいただきました。コミュニティバスの時刻表をより市民に広報してほしい。まちづくり川根の会の法人化の妥当性について、国保税の基金のあり方（突発的な病気のための積立に）、議会基本条例作成に対して市民の参加方法は、公立保育園の民営化のメリット、デメリットは何か。また、川根は少子化が進んでいる、経営は大丈夫か、議会報告会開催での広報の徹底検討、その他、道路の問題、社会教育施設の問題などが出されました。

2月定例会の日程

平成21年第1回（2月）市議会定例会の日程は次のとおりです。本会議の傍聴におこしください。いずれも午前10時開会です。

2月19日（木）本会議（一部議案上程）

2月20日（金）常任委員会

2月27日（金）本会議（議案上程）

3月6日（金）本会議（代表質問）

3月9日（月）本会議（個人質問）

3月10日（火）本会議（個人質問）

3月11日（水）本会議（議案質疑）

3月12日（木）常任委員会

3月13日（金）常任委員会（予備日）

3月24日（火）本会議（最終日）

なお、この予定は変更されることがあります。

編集後記

本会議開始後の11月28日に初めてFM島田において市議会の説明および議場への傍聴を呼びかける放送が流れました。しかし、師走の開催中であることもあって、一般質問に16人の登壇にもかかわらずいつもより傍聴者が少なく残念でした。

さて、議案上程では平成18年から公共施設へ導入された指定管理者制度の第二期公募時期に当たり、これに関わるものが多く提案されました。

今後のFM島田との進め方は、2月定例会から議場録音による放送を検討中です。更に、市民の皆さんに「開かれた議会」へと努めてまいりますので、ご意見をお待ちしています。



議会だより編集等に関する特別委員会

委員長 村田千鶴子
副委員長 松本 敏
委員 仲田 裕子
大石 節雄
橋本 清
溝下 一夫

島田市議会事務局 ☎ 361-7204

Eメール

gikai@city.shimada.shizuoka.jp